

## 教育目標（育成する人材像）

京都芸術大学の建学の精神である「藝術立国」を実現すべく、芸術教養センターは次の2点をその教育の目標とする。

1. 本学の全学年の学生を対象として、芸術活動の根源となる、基礎学力を含む知的社会的能力、幅広い視野と教養に裏付けされた〈創造力〉を涵養すること。
2. 深い思索力と品格をあわせもつ〈人間力〉豊かな卒業生を社会へと送り出すこと。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

探求力	世界や社会の状況を広く深く観察し、ねばり強く問いかけを発していくことができる。
思考力	問題や課題から仮説や課題を発見し、論理的に分析、考察、整理、統合することができる。
発想・構想力	思考力をもとに問題や課題をさまざまな視点から見直し、真に現代に必要とされる価値を見出す、あるいは作り出すことができる。
表現力	言語における表現はもちろんのこと、多様な手段での表現を構想し、的確に発信することができる。
行動力	人間関係のネットワークの中で、多様な課題を解決すべく、適切なコミュニケーションのための布石を打つことができる。
継続力	創造的なプロセスを、そこからのフィードバックを検証しながら、結果が出るまで冷静にかつねばり強く完遂することができる。
コミュニケーション力	他者と協働し、適切な関係を築くことによって自己の可能性を十分に発揮することができる。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術教養センターのカリキュラムは 1) 基礎学力の向上 2) キャリア創出を目標として授業を組み立てられています。

- ・〈創造力〉〈人間力〉の基礎を形づくる「学修基礎科目群」
- ・自分自身のキャリアをイメージし、それを現実に変えていく力を獲得する「キャリア創出科目群」
- ・これからの学習に必要となる教養や基礎力を身につける「芸術教養科目群」

の3つの科目群からなっています。

芸術教養センターの教育は全学年・全学科を対象するものであり、1年生から4年生まで、学士課程における有機的な学習プロセスを重視したカリキュラム構築を行っています。すなわち：

- ① 1年次においては、入学生が、今後4年間にわたり京都芸術大学で積極的な学びを続けることができる基礎力を養うため、「7つの能力」のそれぞれを活性化させる初年次教育を展開する。
- ② 2年次以上においては、特に「芸術教養科目群」においては、芸術的な創造、造形の根源的な力を養う。
- ③ 3・4年次においては、②に示した各構想群における学びを深めると同時に、学生の多様な希望に応えつつ、卒業後のキャリアデザインを意識しながら、学生の将来の社会参加を積極的に応援する。

## ■学修基礎科目群

「クリエイティブワークショップI・II」

初年次教育として「クリエイティブワークショップI」と「クリエイティブワークショップII(ねぶた)」は連続した授業として、学科を横断した20クラスの編成にて授業を行います。「クリエイティブワークショップI」は、学習習慣の確立を目標としつつ、学生自身が多様なワークショップという体験の森の中で、自身の主体性の発見と創造のエンジンを起動させることを目指しています。

さらに、その集大成として「クリエイティブワークショップII」によって巨大なねぶたをグループで制作することで、コミュニティ作りと持続的な人間力形成を体感します。

「ことばとコミュニケーション」

みなさんがこれから大学で学び、さらに社会に出て学び続けるために必要な「ことばとコミュニケーションの能力」、そして、「学び続ける力」をはぐくんでいくための基礎的な姿勢を身につけます。

1年次前期に日本語のコミュニケーションの基礎やプレゼンテーションの基本とマナーを学びます。

※ただし、上記科目は入学した年度に1回生のみが履修可能な科目です。

## ■キャリア創出科目群

自らの将来に対し、幅広い視野を獲得するとともに、知識のみならず人間力の向上を目指します。

現実の社会との接点のなかで活動・活躍を目標とするプロジェクト探究科目、ウルトラ関連科目や将来設計を考えるキャリア対策科目も本科目群に含まれます。社会との接点を強化しキャリアへと接続していきます。

## ■芸術教養科目群

芸術教養科目は、芸術・アートの世界になんらかの形で関わってゆく上で、必要不可欠な教養科目です。重要な内容が多いので積極的に、しっかり学んでほしいと願っています。

芸術教養センターでは、多岐にわたる芸術教養科目を提供します。

## 〈留学生対象科目〉

日本語の能力をのばしたい人は2年次以降で「日本語中級I・II」を履修することをおすすめします。

## プロジェクト演習科目について

### 1 プロジェクトとは

本学では、みなさんが芸術による社会貢献ができる人材の育成をめざし、「芸術と社会の関係を学び」、「社会人として必要な能力を身に付ける」ことを目的として、数多くのプロジェクトに取り組んでいます。企業との受託研究や商品開発、行政と連携した地域振興、大学独自の企画など様々なテーマで展開します。2022年度は約21本のプロジェクトに、延べ約560名が参加しました。

### 2 プロジェクト演習科目

上記のようなプロジェクトの中で、学年・学科を越えたグループ活動を通して、現実の社会にある様々な問題解決に取り組むものを、プロジェクト演習科目（Ⅰ～Ⅷ、各2単位）としています。この科目では、活動のテーマ及び内容、活動時間数、参加人数等によって単位認定を決定します。詳細は下記スケジュールの参加者募集時にお知らせします。

注意：全てのプロジェクトが「プロジェクト演習科目」になる訳ではありません。また、通常のWeb履修登録とは手続きやスケジュールが異なります。募集時に必ず確認してください。

### 【参考】過去に実施した主なプロジェクト

#### [リアルワークプロジェクト]

( )内は委託企業・関連団体名

手しごと職人のまち東山プロジェクト（京都市東山区）  
ホスピタルアート「HAPii+」（京都大学医学部附属病院）  
栗田大燈呂プロジェクト（栗田大燈呂実行委員会）  
フコクアトリウム空間プロデュースプロジェクト（富国生命）  
ミス・パールプロジェクト（株式会社カムデン）  
台湾アートプロジェクト（台南芸術大学・京都市）  
南座看板制作プロジェクト（京都四條南座）  
京都クラウドファンディングプロジェクト（株式会社TomorrowFactory）  
学園祭お化け屋敷プロジェクト（本学自主企画）  
イルミネーションプロジェクト（本学自主企画）  
八代目儀兵衛プロジェクト（株式会社八代目儀兵衛）  
VIVAプロジェクト（株式会社ビバ）

#### [ウルトラプロジェクト]

( )内はディレクター名

「モフモフ・コレクティブ」プロジェクト（ヤノベケンジ）  
ULTRA SANDWICH PROJECT（名和晃平）  
リモート・コントロール・エキシビジョン計画（明和電機）  
やなぎみわ演劇プロジェクト（やなぎみわ）  
COLORFUL LAB.（増田セバスチャン）  
日野工房設計プロジェクト（dot architects）  
MILESTONES（西陣織細尾・細尾真孝）  
ニッポン画×浮世絵プロジェクト（山本太郎）  
劇団四季『CATS』舞台美術製作プロジェクト（劇団四季）  
BUYBYPRODUCTS Circulation Studio（副産物産店・松本尚子・中村紀章・水迫涼太）  
企画・編集プロジェクトBYEDIT（多田智美・竹内厚）  
淀川テクニク！プロジェクト（柴田英昭）

### プロジェクト・ウルトラファクトリー 説明会日程

#### プロジェクト説明会日程

#### ウルトラファクトリー説明会日程

日時等については掲示または在学生専用サイトにてお知らせいたします。

## 2021年度開講 芸術教養センター就職支援授業

	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キャリア 国語・英語	キャリア国語/英語[基礎] (前・後期)		キャリア国語/英語 [応用] (前・後期) 「各科目の応用レベル」※必ずしも[基礎]を履修していなくてもよい キャリア国語[実践] (前・後期) 「各科目の実践レベル」※必ずしも[基礎][応用]を履修していなくてもよい			
キャリア数学	キャリア数学[基礎] (前期)		キャリア数学[応用] (前期) 「各科目の応用レベル」※必ずしも[基礎]を履修していなくてもよい キャリア数学[実践] (後期) 「各科目の実践レベル」※必ずしも[基礎][応用]を履修していなくてもよい			
キャリア形成 社会を知る、自分を知る		キャリアデザイン基礎 「本学学生の進路を詳しく知り、 自身の選択に役立てる」				
キャリア実践 インターンシップ (就業体 験) ・就職活動に備える				就職対策Ⅱ 「自己理解・職業理解を深め、 インターンシップに向けて準備 &実践する」	就職対策特講 「インターンシップ実践&就職 試験本番に向けた総合対策」	

## 4年間の流れ

## 1年次

- マンデー・ねぶたを受けて、「キャリアデザイン基礎」では学習成果や身についた力を振り返りながら、キャリア形成をスタートさせる。
- 就職試験で使われたり、社会に出た後、あらゆる職業で求められる国語、数学、英語を早期から取り組む。

## 2年次

- 後期から本格的なキャリアデザインプログラム「就職対策Ⅱ」がスタート。3年次から始まるインターンシップ・就職活動に向けて、自己理解・職業理解を深めながら志望業界・職種を「やりたい」と「できる」の2方向定め、3年次4月～行動計画を立て、実践していく。履歴書作成など実践的な内容。
- キャリア国語・数学・英語は[応用]と[実践]へ。基礎を履修した後に、または履修していなくても各自のレベルに合わせて履修が可能。就職試験、卒業後に使える[実践]レベルまで履修をおすすめする。

## 3年次 (前期)

- 就職活動を実践していく3年次。前期の「就職対策特講」では、インターンシップエントリー解禁日の6月1日に向けて就活準備を進め、6月1日以降は実際にエントリー・応募していく。秋冬から始まる早期選考、さらに就職試験本番に向けた総合対策。就職希望者に強くおすすめする。
- 2年次で履修していない人は、キャリア国語・数学の[応用][実践]、英語の[応用]に取り組む。

## 3年次 (後期) ~4年次

- 内定 (就職が決定すること) や自分の進路が決定するまで活動を続ける。就職支援授業はないが、代わりに3年次後期は放課後などに学内で開催される「就活講座」を活用しながら、キャリアデザインセンター (人間館1F) で個別にサポートを受けることができる。

## 就職支援授業とキャリアデザインセンター

就職支援授業を運営する「芸術教養センター」と、ひとりひとりの進路を個別にサポートする「キャリアデザインセンター」は密に連携しています。就職支援授業を履修することで、スムーズにキャリアデザインセンターを活用できるようになります。